

○「状況調査結果をベースに農地活用策を協議」

(京都府宮津市 日置・世屋地区連絡会議)(平成30年度第2回)

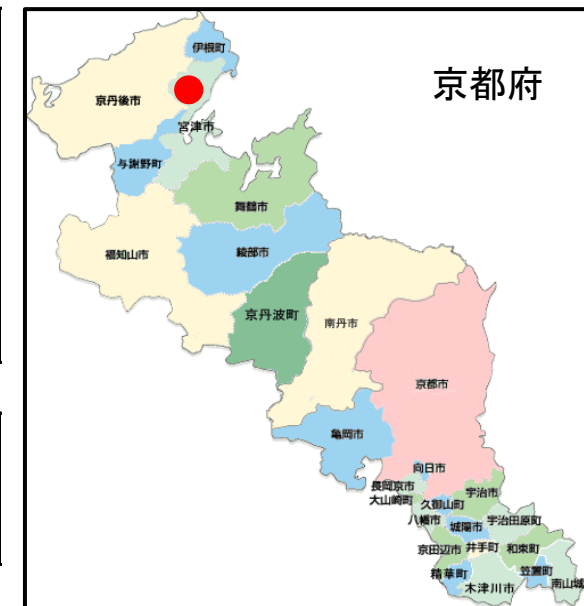
担い手への
農地利用の
集積・集約化遊休農地の
発生防止・
解消新規参入の
促進その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年8月24日(金) 14:00～17:00
- 場 所: 宮津市日置上地区集会所
- 出席者: 吉田委員、田中推進委員、溝口推進委員
協力員7人 ※委員3人、委員以外7人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 日置地区 法人2社と担い手農家3戸により、ハウス栽培、水稻を中心に営農されている
- 世屋地区 移住者や中核的農家が、耕作放棄地再生や農地集積の取り組みなどを行うことにより、
条件不利地でも積極的な取り組みとなっている



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 利用状況調査の内容について、農地地図と農地一覧等書類で協力員の情報交換を行う
 - (世屋)畑地区…A分類が増加 下世屋地区…異動なし 上世屋地区…異動なし
 - 松尾地区…異動なし／B分類は非農地判断を希望
 - 木子地区…移動無し／管理ができており遊休農地の増加はない
 - (日置)上地区…異動なし／スーパーにしがきが所有農地3筆を保全管理。使用目的は不明
 - 浜地区…異動なし／オリーブ栽培あり
- 当初は予定がなかった意見交換会だが、様々な意見が出た。
 - ・農地中間管理事業の対応希望、市特産のオリーブ栽培の対応検討、販売促進や災害対応 等

4 活動結果

- 情報・意見交換 3 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援